

病床機能の分化・連携を推進するための基盤整備事業

目的

将来不足が見込まれる回復期機能病床への機能転換を支援することにより、病床の機能分化・連携の推進による効率的な医療提供体制の構築を図ることを目的とする。

背景

本県の平成 27 年度病床機能報告結果と将来の機能別必要病床数を比較すると、回復期機能が不足すると見込まれており、現在の医療提供体制のままでは、高齢化の進展に伴う医療需要増加への対応が困難となる見込みである。

必要性

将来過剰が見込まれる機能病床から回復期機能病床への機能転換を促すことにより、回復期病床の不足を解消するとともに、各機能にわたってバランスのとれた、効率的で質の高い医療提供体制の整備を図る必要がある。

事業概要

県内の病院が、既存の病床を地域包括ケア病棟または回復期リハビリテーション病棟へ転換するために必要な施設整備、設備整備に係る費用を支援する。

◎ 補助率 2/3 (特定財源：沖縄県医療介護総合確保基金)

◎ 基準額等

・施設整備

増改築 1床当たり 4,770 千円

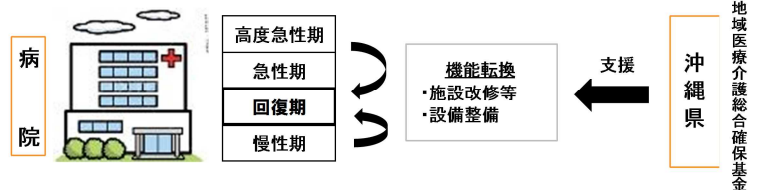
改修 1床当たり 3,333 千円

・設備整備

1施設当たり 10,800 千円

※ 新設に限る。

スキーム



事業効果

将来過剰が見込まれる機能病床から回復期機能病床への機能転換を促すことにより、高度急性期から急性期、回復期、慢性期、在宅医療に至るまでの一連の医療提供体制を総合的に確保し、地域にふさわしいバランスのとれた、効率的で質の高い医療提供体制の整備を図ることができる。

過年度実績 (H27・H28ともに施設整備のみ。)

○平成 27 年度

実績額：68,474 千円 (2施設)

北部地区医師会病院 25床 (地域包括ケア病棟)

79,380 千円(実支出額) × 2/3 = 52,920 千円

小禄病院 7床 (地域包括ケア病棟)

23,331 千円(基準額) × 2/3 = 15,554 千円

○平成 28 年度

実績額：967 千円 (1施設)

県立北部病院 25床 (地域包括ケア病棟)

1,451 千円(実支出額) × 2/3 = 967 千円

平成 29 年度予算状況

対象施設：同仁病院 25床 (地域包括ケア病棟)

事業費：5,821 千円

県予算額：62,750 千円

積算根拠

① 施設整備

25床 × 1施設 × 3,333 千円 × 2/3 = 55,550 千円

② 設備整備

1施設 × 10,800 千円 × 2/3 = 7,200 千円

①+② = 62,750 千円